

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(H30年度:計画作成主体:能代市農業再生協議会)(秋田県)

取組の概要

取組の概要 : 露地野菜(ねぎ)産地の形成
 対象品目 : ねぎ (R3栽培面積: 6.1ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人 轟ネオファーム
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 導入機械 : 生産支援事業
 トラクター、ソイルミックス
 ストーンクラッシャー

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

河川沿いに位置するため下層土に礫が多く、深い耕土を必要とするねぎ栽培では管理作業の度に露出する礫の処理に時間を要し、作付面積の拡大やブロックローテーションの妨げとなっていた。

このため、土壌中の礫類破碎による生産環境改善に取組み、作業の省力化、ブロックローテーション可能な農地の確保、高品位安定生産を実現する。

【産地の体質強化に向けた方策】

ストーンクラッシャーを導入し礫類の除去作業を省力化することで、生産環境改善・省力・低コスト化を図り、ブロックローテーションによる持続可能な農業経営を可能とする。これにより、高品質安定生産体系を確立する

地区の概要

秋田県能代市
轟地区



推進体制

大規模園芸拠点等育成推進チームを設置し、事業内容や実施スケジュールを情報共有しながら、関係機関で役割分担

構成	役割
取組主体	施設機械の導入による大規模複合経営
JAあきた白神	営農指導、研修会の開催、販路拡大
能代市、藤里町	各種事業の手続き、栽培試験
県地域振興局	事業推進、関係機関との調整

取組成果

【事業実施による直接効果】

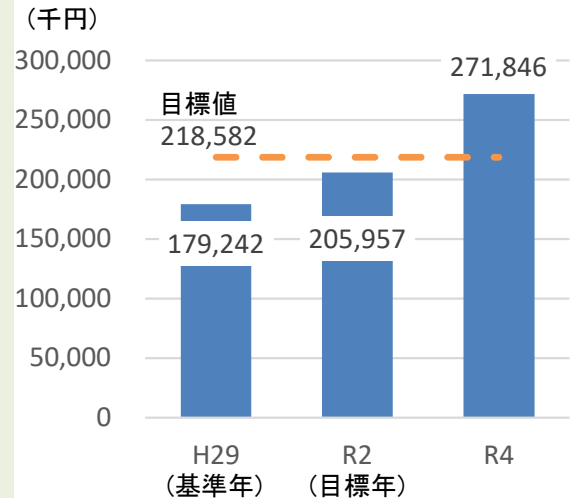
- ブロックローテーションによるねぎの高品質、安定生産と持続的な農業経営
- 年々、作付面積、販売金額が増加
- ねぎ大規模栽培のモデルとなっている

	H29	R4
作付面積(ha)	18.8	23
生産量(t)	524	695

【事業実施による間接効果】

- 若手の雇用就農者が、その後、独立してねぎ栽培を開始。これからの地域農業を担う若手の研修の場となっている
- 成功モデルとして能代市内にとどまらず県内のねぎ生産拡大に貢献

販売額52%増加
(達成率235%)



(※R2年、R4年の実績は価格補正後の金額)

地域における独自の取組

- 産地生産基盤パワーアップ事業と共に県単補助事業を併せて施設整備と機械導入を支援
- JA園芸メガ団地連絡協議会を開催し、ねぎを大規模に生産する経営体が関係機関も交えて情報共有